

千葉 県宛て署名41310筆を提出

全教千葉、千葉父母懇、退職教が結集 それぞれに思いを込めて訴えました

<私教連メールアドレス chibasikyoren@outlook.jp >

2022.12.7 No.613

千葉 私教連情報

〒263-0023 千葉市稲毛区緑町 2-16-1 tel: 043(248)2387 fax: 043(242)4664

教育予算増額を求め

署名提出集会を開催!



森委員長は、私学の実情を訴え提出しました

11月25日の金曜日、午後4時から県庁の議会棟3階会議室において、千葉県に対し教育予算の増額を求める署名提出集会が開催されました。全教千葉・全教退職教、千葉私教連・千葉県の私学をよくする父母懇談会・千葉県私学退職教が参加しました。

始めに主催者挨拶として、全教千葉書記次長の浅野さんが公立小中学校における教員未配置問題の解消と少人数学級の早期実現を訴えました。そして、今年度の採用試験では大幅な増員がなされたことが報告されました。続いて来賓の紹介議員になっていただいている共産党の加藤・三輪両

議員が紹介され、加藤議員が挨拶にたちました。公立の未配置問題について教員不在の穴を埋めるべく校長が担任代行をしたり複数クラスを兼務したりという教員の絶対的数的不足がとても深刻な状況にあることの訴えがありました。この問題を私学に置き換えると、非常勤講師で代用することで専任率がどの学校も低く抑えられている状況と重なりあり、各職場における業務多忙の原因にもなっている大きな課題でもあります。

その後、参加各団体から現状の訴えがありました。まず全教千葉書記次長・浅野さん、中川さんから未配置問題の重要性について発言がありました。続いて退職教の花立先生、県父母懇の宮澤会長から「コロナ禍で署名活動の難しさ」が報告されそれでも署名の重要性について発言がありました。私教連からは、林副委員長より今年度新設された「私立小中学校の家計急変世帯に対する救済制度」と9月末滞納調査から見てきた現状の報告がありました。前年同時期調査に比べ今年は長期滞納率が増えています。コロナ禍が続くなかで経済状況の悪化、諸物価の高騰などなど学費滞納問題が深刻さの度合いを深めつつあり、制度拡充が喫緊の課題で有ることが訴えられました。

最後に、当日までに集約した署名41,310筆が各団体からの「一言」を添え、県総務部を通じて県議会に提出されました。その閉会挨拶を千葉私教連書記長の有馬先生(専大松戸)が私学助成の速やかな2分の1達成を訴えて会は閉じました。



林副委員長、集会の議事進行!!

国向け署名は2月まで さらに大きく広げましょう